

内藤十灣 おうちわん 儒者。天保二年二月五日陸奥國鹿角郡毛馬内生れ、

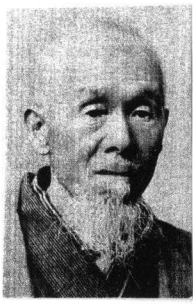
明治四十一年二月二十一日歿（八三—一九〇八）。諱貞善、のち諱一、字

子祥、のち千里、幼名幾太郎。川上東巖、江崎格樓（那珂通高）の學

ぶ。戊辰役に従軍し「出陣日記」二巻を爲す。維新後「鹿角志」五巻

があり、頼山陽の私淑。避寒地遊記を著した。内藤湖南はその次男。

遺著 漫遊記 漫遊記行（明治四十一年六月二十七日京都・内藤虎次郎刊）。



漫遊記行